

川崎市およびボランティア・アーキテクト・ネットワークとの「災害時等における避難所用簡易間仕切りシステム等の供給等に関する協定書」締結式が行われました（2021/3/30）

テーマ：川崎市、坂茂、3者間協定、避難所運営、間仕切りシステム
場所：川崎市役所（神奈川県川崎市）

2021年3月30日に川崎市役所において、「災害時等における避難所用簡易間仕切りシステム等の供給等に関する協定書」締結式が行われました。本協定は、川崎市における災害発生の際に間仕切りシステム等を迅速に供給することにより、感染対策やプライバシーの確保に配慮した円滑な避難所運営を実現すること、また避難所運営における様々な課題の解決に向けて専門的知見に基づく技術的支援・助言の協力を目的として、川崎市と特定非営利活動法人ボランティア・アーキテクト・ネットワーク（VAN）および災害科学国際研究所の3者間で締結されました。

本協定の発効日は、2021年4月1日です。

締結式出席者：

川崎市長 福田紀彦 氏

VAN 代表理事 坂茂 氏（当研究所 特任教授）（慶應大学環境情報学部 教授）

VAN 事務局長 原野 泰典 氏

当研究所長 今村 文彦 教授（津波工学研究分野）（オンライン出席）

当研究所 村尾 修 教授（国際防災戦略研究分野）

この間仕切りは、坂教授が2004年新潟県中越地震直後に開発したシステムであり、その後改善され、現在に至っています。締結式ではこの間仕切りシステムも公開され、村尾修教授と坂茂特任教授が中心となり2020年12月以降行われている、「災害対応空間の設営・運営に関する研究会」についても報告がありました。今後の川崎市の避難所運営に貢献していく所存です。



締結式の様子

文責：村尾修（国際防災戦略研究分野）